

2 豚コレラ国内発生に係る危機管理対応について

南丹家畜保健衛生所

○田中究 山本哲也

【はじめに】昨年9月に国内26年ぶりに岐阜県で発生した豚コレラは5府県に拡大。岐阜県、愛知県野生いのししからもウイルスが検出され、国は経口ワクチン使用に踏み切ったが、なお予断を許さない状況が継続。当所管内では府内の豚等の98.5%が飼養されており、関係機関と連携して対応を実施。【予防対策】緊急巡回：岐阜県での初発直後、愛知県での野生いのしし感染確認時、5府県への感染拡大時の計3回、全16農家へ緊急的に立入検査を実施。異常がないことを確認し、飼養衛生管理基準の遵守など予防対策の徹底を指導。情報発信：3月末までに農家及び関係機関に衛生情報等を計32回配布。防疫研修会：農家・関係機関を対象に豚コレラに関する知識と発生予防対策についての研修会を開催。野生いのしし対策：電気柵とフェンスの設置を支援（3戸4農場で延べ1,750m設置）。【発生への備え】危機管理部局と共同して、農家毎の発生農場防疫作業シミュレーション、各関係機関の役割分担、移動制限区域及び消毒ポイントを調整し、防疫台帳に整理。発生時の必要資材積算と資材の備蓄状況確認。岐阜県の防疫作業への職員派遣と伝達講習を実施し作業シミュレーションへ反映。【今後の対応】正確な情報を収集し、農家や関係機関へ迅速に提供し、農場の衛生管理レベルを高め、市町を含む関係機関の共通認識のもと管内の豚コレラ防疫体制を強化。今後も関係機関と連携し、監視と指導を徹底。